



平成 25 年 12 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 大場 典彦
(J A S D A Q ・ コード 7918)
問 い 合 せ 先 役職・氏名 取締役 今井 将和
電 話 番 号 03-5155-6801

(訂正)「平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算短信 [日本基準] (連結)」

の一部訂正について

当社は、平成 25 年 12 月 6 日付けにて「誤謬により不適切な会計処理が行われたことの判明及び社内調査委員会の設置についてのお知らせ」を公表いたしましたとおり、過去の会計処理に一部誤りがあることが判明し、本件に関して社内調査委員会による調査を実施してまいりました。この調査結果につきましては、本日公表いたしました「社内調査報告書の提出に関するお知らせ」をご参照ください。

その結果、当社が平成 24 年 8 月 14 日に公表いたしました「平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算短信 [日本基準] (連結)」を訂正することとなりましたので、お知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に上るため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線__を付して表示しております。

以 上

【訂正後】



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月14日

上場会社名 株式会社ヴィア・ホールディングス 上場取引所 大
 コード番号 7918 URL <http://www.via-hd.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大場 典彦
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)能仁 一朗 TEL 03-5155-6801
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	7,048	△10.7	433	24.4	369	34.9	212	△56.5
24年3月期第1四半期	7,892	△15.4	348	216.9	274	408.7	488	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 191百万円(△60.1%) 24年3月期第1四半期 480百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第1四半期	8	74	—	—
24年3月期第1四半期	20	10	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
25年3月期第1四半期	22,469		3,443		15.3	42	89	
24年3月期	23,498		3,307		14.1	34	84	

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,443百万円 24年3月期 3,307百万円

(注) 「1株当たり純資産」の算定においては、(期末純資産の部合計－優先株式の発行金額)を(期末の発行済み株式数－期末自己株式数)で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	14,000	△9.1	700	△16.3	550	△20.9	300	△48.1	12	34
通期	29,000	△2.6	1,400	△3.0	1,100	△5.5	650	—	26	73

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名)、 除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	24,324,700株	24年3月期	24,319,700株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	2,426株	24年3月期	2,426株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	24,318,944株	24年3月期1Q	24,317,274株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	25,000.00	25,000.00
25年3月期(予想)	—			50,000.00	50,000.00

(注) A種優先株式は、平成23年9月に発行しております。発行時に定められたA種優先株式発行要領に基づき、平成24年3月期より配当を実施しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により、一部に緩やかな回復基調が見られるものの、電力の安定供給に対する懸念や、消費税増税議論に伴う消費マインドの低下、欧州債務危機問題に伴う円高の長期化などから、依然として先行きが不透明な状況が続いております。当社の中核事業である外食業界においても、長引くデフレ経済下において低価格志向が継続し、厳しい経営環境となりました。

こうした厳しい経営環境にありながらも、中期的な成長と拡大に向け「既存事業のバリューアップによる基礎収益力の向上」「本部機能の集中化による価値競争力の向上」「内部統制の推進によるマネジメント力の向上」の3つを基本戦略とし、景気低迷期における収益体質の強化をさらに進めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は7,048百万円（前年同四半期比10.7%減）、営業利益は433百万円（同24.4%増）、経常利益は369百万円（同34.9%増）、四半期純利益は212百万円（同56.5%減）となりました。なお、前年同四半期には持分変動利益（特別利益）588百万円が含まれております。

セグメントの業績は以下のとおりです。

当第1四半期連結累計期間における外食サービス事業においては、食の安全・安心を第一に置きつつ、継続的なQSCA向上への取り組みや、リニューアル等による既存店舗の付加価値向上を進めてまいりました。また、大型居酒屋業態においては、宴会メニューの充実を図るほか、お昼の宴会プランを設定するなど、店舗の効率的な運営に取り組んでおります。一方でお客様の満足度に関連しない販管費コストについては、継続的に削減をおこなってまいりました。

その結果、売上高は6,282百万円（前年同四半期比12.1%減）となりましたが、営業利益は452百万円（同15.4%増）となりました。なお、前年同四半期の実績には、前年5月に連結除外となった㈱NBKの実績が含まれております。

当第1四半期連結累計期間における印刷流通事業については、業界を取り巻く経営環境は依然として厳しいものの、内製化率の向上に積極的に取り組み、収益体質の改善が進みました。

その結果、売上高は765百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益は63百万円（同190.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,028百万円減少し、22,469百万円となりました。これは、有形固定資産が172百万円減少したこと、敷金及び保証金が40百万円減少したこと、現金及び預金が607百万円減少したこと等によるものであります。

一方、負債の部では、借入金が901百万円減少したこと、割賦未払金が53百万円減少したこと、店舗閉鎖損失引当金が43百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,164百万円減少し、19,026百万円となりました。

純資産の部は、資本剰余金が剰余金の配当により60百万円減少したこと、四半期純利益により利益剰余金が212百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ136百万円増加し、3,443百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.2ポイント上がり15.3%となり、1株当たり純資産は42円89銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況分析)

当第1四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益が363百万円、減価償却費291百万円、のれん償却費35百万円、減損損失9百万円等により529百万円の資金収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、既存店のリニューアルや新規出店等に伴う固定資産の取得による支出78百万円、敷金・保証金の支払20百万円等により、79百万円の資金支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、長期借入金の返済による支出901百万円、長期未払金の返済による支出53百万円等により、1,057百万円の資金支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成25年3月期の連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益について、平成24年5月15日付「決算短信」の公表数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,148	3,541
受取手形及び売掛金	1,081	1,018
商品及び製品	36	38
仕掛品	54	63
原材料及び貯蔵品	184	181
繰延税金資産	89	107
その他	505	479
貸倒引当金	△42	△44
流動資産合計	6,057	5,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,457	6,405
機械装置及び運搬具(純額)	445	446
工具、器具及び備品(純額)	506	490
リース資産(純額)	369	342
土地	1,746	1,746
建設仮勘定	80	4
有形固定資産合計	9,607	9,435
無形固定資産		
のれん	2,212	2,206
その他	408	380
無形固定資産合計	2,620	2,587
投資その他の資産		
投資有価証券	969	932
長期貸付金	21	20
敷金及び保証金	3,178	3,137
繰延税金資産	979	911
その他	53	49
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	5,197	5,046
固定資産合計	17,425	17,068
繰延資産	15	15
資産合計	23,498	22,469

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第1 四半期連結会計期間 (平成24年 6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,023	2,011
短期借入金	1,988	2,100
未払金	495	475
未払費用	685	612
未払法人税等	78	93
賞与引当金	220	272
店舗閉鎖損失引当金	113	70
その他	602	548
流動負債合計	6,205	6,185
固定負債		
長期借入金	12,895	11,881
その他	1,090	959
固定負債合計	13,985	12,840
負債合計	20,190	19,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,765	2,767
資本剰余金	5,045	4,987
利益剰余金	<u>△4,359</u>	<u>△4,146</u>
自己株式	△1	△1
株主資本合計	<u>3,449</u>	<u>3,606</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△126	△149
繰延ヘッジ損益	△16	△14
その他の包括利益累計額合計	<u>△142</u>	<u>△163</u>
純資産合計	<u>3,307</u>	<u>3,443</u>
負債純資産合計	<u>23,498</u>	<u>22,469</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	7,892	7,048
売上原価	2,751	2,507
売上総利益	5,141	4,540
販売費及び一般管理費	4,792	4,106
営業利益	348	433
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	9
その他	27	23
営業外収益合計	36	32
営業外費用		
支払利息	106	93
その他	4	3
営業外費用合計	110	96
経常利益	274	369
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	20	—
持分変動利益	588	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	11
その他	0	—
特別利益合計	612	11
特別損失		
固定資産除却損	0	7
減損損失	223	9
店舗閉鎖損失	63	—
その他	14	0
特別損失合計	300	17
税金等調整前四半期純利益	585	363
法人税、住民税及び事業税	29	87
法人税等調整額	67	63
法人税等合計	97	150
少数株主損益調整前四半期純利益	488	212
四半期純利益	488	212

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	488	212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△23
繰延ヘッジ損益	—	2
その他の包括利益合計	△7	△20
四半期包括利益	480	191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	480	191
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	585	363
減価償却費	333	291
のれん償却額	55	35
繰延資産償却額	—	1
減損損失	223	9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	124	52
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	7	△43
新株予約権発行に伴うみなし人件費	2	4
受取利息及び受取配当金	△8	△9
支払利息	106	93
持分変動損益 (△は益)	△588	—
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△20	—
固定資産除売却損益 (△は益)	△2	7
売上債権の増減額 (△は増加)	△15	63
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4	△8
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△15	29
仕入債務の増減額 (△は減少)	76	△11
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△44	△15
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	327	△102
その他	△15	△43
小計	1,135	719
利息及び配当金の受取額	8	9
利息の支払額	△107	△119
法人税等の支払額	△45	△79
営業活動によるキャッシュ・フロー	991	529
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35	△78
有形固定資産の売却による収入	2	—
無形固定資産の取得による支出	△1	△37
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
子会社株式の売却による収入	100	—
短期貸付金の増減額 (△は増加)	117	0
長期貸付金の回収による収入	0	0
長期未収入金の増減額 (△は増加)	3	3
敷金及び保証金の差入による支出	△16	△20
敷金及び保証金の回収による収入	194	55
預り保証金の返還による支出	△6	△0
預り保証金の受入による収入	3	—
その他	△0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	362	△79

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△359	—
長期借入金の返済による支出	△0	△901
長期未払金の返済による支出	△58	△53
リース債務の返済による支出	△36	△39
株式の発行による収入	0	0
配当金の支払額	△0	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	△455	△1,057
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	898	△607
現金及び現金同等物の期首残高	805	4,148
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△249	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,454	3,541

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食サービ ス事業	印刷流通事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,148	744	7,892	—	7,892	—	7,892
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	22	43	—	43	△43	—
計	7,169	766	7,935	—	7,935	△43	7,892
セグメント利益	391	21	413	—	413	△64	348

(注) 1. セグメント利益の調整額△64万円には、セグメント間取引消去231百万円、のれんの償却額△47百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△248百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

外食サービス事業において、一部の店舗について固定資産簿価の回収が困難であると判断し、223百万円の減損損失を計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食サービ ス事業	印刷流通事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,282	765	7,048	—	7,048	—	7,048
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	36	36	—	36	△36	—
計	6,282	801	7,084	—	7,084	△36	7,048
セグメント利益	452	63	515	—	515	△82	433

(注) 1. セグメント利益の調整額△82百万円には、セグメント間取引消去140百万円、のれんの償却額△35百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△187百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

外食サービス事業において、一部の店舗について固定資産簿価の回収が困難であると判断し、9百万円の減損損失を計上しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

【訂正前】



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月14日

上場会社名 株式会社ヴィア・ホールディングス 上場取引所 大
 コード番号 7918 URL <http://www.via-hd.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大場 典彦
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)能仁 一朗 TEL 03-5155-6801
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	7,048	△10.7	417	25.9	353	37.5	196	△60.1
24年3月期第1四半期	7,892	△15.4	331	201.5	257	377.3	493	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 176百万円(△63.7%) 24年3月期第1四半期 485百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第1四半期	8	10	—	—
24年3月期第1四半期	20	29	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
25年3月期第1四半期	22,487		3,460		15.4	43	61	
24年3月期	23,531		3,340		14.2	36	20	

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,460百万円 24年3月期 3,340百万円

(注)「1株当たり純資産」の算定においては、(期末純資産の部合計－優先株式の発行金額)を(期末の発行済み株式数－期末自己株式数)で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	14,000	△9.1	700	△12.7	550	△16.8	300	△47.0	12	34
通期	29,000	△2.6	1,400	1.8	1,100	0.3	650	—	26	73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	24,324,700株	24年3月期	24,319,700株
25年3月期1Q	2,426株	24年3月期	2,426株
25年3月期1Q	24,318,944株	24年3月期1Q	24,317,274株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	25,000.00	25,000.00
25年3月期(予想)	—			50,000.00	50,000.00

(注) A種優先株式は、平成23年9月に発行しております。発行時に定められたA種優先株式発行要領に基づき、平成24年3月期より配当を実施しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により、一部に緩やかな回復基調が見られるものの、電力の安定供給に対する懸念や、消費税増税議論に伴う消費マインドの低下、欧州債務危機問題に伴う円高の長期化などから、依然として先行きが不透明な状況が続いております。当社の中核事業である外食業界においても、長引くデフレ経済下において低価格志向が継続し、厳しい経営環境となりました。

こうした厳しい経営環境にありながらも、中期的な成長と拡大に向け「既存事業のバリューアップによる基礎収益力の向上」「本部機能の集中化による価値競争力の向上」「内部統制の推進によるマネジメント力の向上」の3つを基本戦略とし、景気低迷期における収益体質の強化をさらに進めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は7,048百万円（前年同四半期比10.7%減）、営業利益は417百万円（同25.9%増）、経常利益は353百万円（同37.5%増）、四半期純利益は196百万円（同60.1%減）となりました。なお、前年同四半期には持分変動利益（特別利益）588百万円が含まれております。

セグメントの業績は以下のとおりです。

当第1四半期連結累計期間における外食サービス事業においては、食の安全・安心を第一に置きつつ、継続的なQSCA向上への取り組みや、リニューアル等による既存店舗の付加価値向上を進めてまいりました。また、大型居酒屋業態においては、宴会メニューの充実を図るほか、お昼の宴会プランを設定するなど、店舗の効率的な運営に取り組んでおります。一方でお客様の満足度に関連しない販管費コストについては、継続的に削減をおこなってまいりました。

その結果、売上高は6,282百万円（前年同四半期比12.1%減）となりましたが、営業利益は452百万円（同15.4%増）となりました。なお、前年同四半期の実績には、前年5月に連結除外となった㈱NBKの実績が含まれております。

当第1四半期連結累計期間における印刷流通事業については、業界を取り巻く経営環境は依然として厳しいものの、内製化率の向上に積極的に取り組み、収益体質の改善が進みました。

その結果、売上高は765百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益は63百万円（同190.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,044百万円減少し、22,487百万円となりました。これは、有形固定資産が172百万円減少したこと、敷金及び保証金が40百万円減少したこと、現金及び預金が607百万円減少したこと等によるものであります。

一方、負債の部では、借入金が901百万円減少したこと、割賦未払金が53百万円減少したこと、店舗閉鎖損失引当金が43百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,164百万円減少し、19,026百万円となりました。

純資産の部は、資本剰余金が剰余金の配当により60百万円減少したこと、四半期純利益により利益剰余金が196百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ120百万円増加し、3,460百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.2ポイント上がり15.4%となり、1株当たり純資産は43円61銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況分析)

当第1四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益が347百万円、減価償却費291百万円、のれん償却費51百万円、減損損失9百万円等により529百万円の資金収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、既存店のリニューアルや新規出店等に伴う固定資産の取得による支出78百万円、敷金・保証金の支払20百万円等により、79百万円の資金支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、長期借入金の返済による支出901百万円、長期未払金の返済による支出53百万円等により、1,057百万円の資金支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成25年3月期の連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益について、平成24年5月15日付「決算短信」の公表数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,148	3,541
受取手形及び売掛金	1,081	1,018
商品及び製品	36	38
仕掛品	54	63
原材料及び貯蔵品	184	181
繰延税金資産	89	107
その他	505	479
貸倒引当金	△42	△44
流動資産合計	6,057	5,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,457	6,405
機械装置及び運搬具(純額)	445	446
工具、器具及び備品(純額)	506	490
リース資産(純額)	369	342
土地	1,746	1,746
建設仮勘定	80	4
有形固定資産合計	9,607	9,435
無形固定資産		
のれん	2,151	2,129
その他	408	380
無形固定資産合計	2,559	2,510
投資その他の資産		
投資有価証券	969	932
長期貸付金	21	20
敷金及び保証金	3,178	3,137
繰延税金資産	1,073	1,005
その他	53	49
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	5,291	5,140
固定資産合計	17,459	17,086
繰延資産	15	15
資産合計	23,531	22,487

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第1 四半期連結会計期間 (平成24年 6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,023	2,011
短期借入金	1,988	2,100
未払金	495	475
未払費用	685	612
未払法人税等	78	93
賞与引当金	220	272
店舗閉鎖損失引当金	113	70
その他	602	548
流動負債合計	6,205	6,185
固定負債		
長期借入金	12,895	11,881
その他	1,090	959
固定負債合計	13,985	12,840
負債合計	20,190	19,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,765	2,767
資本剰余金	5,045	4,987
利益剰余金	<u>△4,325</u>	<u>△4,128</u>
自己株式	△1	△1
株主資本合計	<u>3,483</u>	<u>3,624</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△126	△149
繰延ヘッジ損益	△16	△14
その他の包括利益累計額合計	<u>△142</u>	<u>△163</u>
純資産合計	<u>3,340</u>	<u>3,460</u>
負債純資産合計	<u>23,531</u>	<u>22,487</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	7,892	7,048
売上原価	2,751	2,507
売上総利益	5,141	4,540
販売費及び一般管理費	4,809	4,122
営業利益	331	417
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	9
その他	27	23
営業外収益合計	36	32
営業外費用		
支払利息	106	93
その他	4	3
営業外費用合計	110	96
経常利益	257	353
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	20	—
持分変動利益	588	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	11
その他	0	—
特別利益合計	612	11
特別損失		
固定資産除却損	0	7
減損損失	223	9
店舗閉鎖損失	63	—
その他	14	0
特別損失合計	300	17
税金等調整前四半期純利益	568	347
法人税、住民税及び事業税	29	87
法人税等調整額	45	63
法人税等合計	75	150
少数株主損益調整前四半期純利益	493	196
四半期純利益	493	196

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	493	196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△23
繰延ヘッジ損益	—	2
その他の包括利益合計	△7	△20
四半期包括利益	485	176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	485	176
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	568	347
減価償却費	333	291
のれん償却額	71	51
繰延資産償却額	—	1
減損損失	223	9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	124	52
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	7	△43
新株予約権発行に伴うみなし人件費	2	4
受取利息及び受取配当金	△8	△9
支払利息	106	93
持分変動損益 (△は益)	△588	—
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△20	—
固定資産除売却損益 (△は益)	△2	7
売上債権の増減額 (△は増加)	△15	63
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4	△8
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△15	29
仕入債務の増減額 (△は減少)	76	△11
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△44	△15
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	327	△102
その他	△15	△43
小計	1,135	719
利息及び配当金の受取額	8	9
利息の支払額	△107	△119
法人税等の支払額	△45	△79
営業活動によるキャッシュ・フロー	991	529
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35	△78
有形固定資産の売却による収入	2	—
無形固定資産の取得による支出	△1	△37
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
子会社株式の売却による収入	100	—
短期貸付金の増減額 (△は増加)	117	0
長期貸付金の回収による収入	0	0
長期未収入金の増減額 (△は増加)	3	3
敷金及び保証金の差入による支出	△16	△20
敷金及び保証金の回収による収入	194	55
預り保証金の返還による支出	△6	△0
預り保証金の受入による収入	3	—
その他	△0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	362	△79

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△359	—
長期借入金の返済による支出	△0	△901
長期未払金の返済による支出	△58	△53
リース債務の返済による支出	△36	△39
株式の発行による収入	0	0
配当金の支払額	△0	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	△455	△1,057
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	898	△607
現金及び現金同等物の期首残高	805	4,148
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△249	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,454	3,541

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食サービ ス事業	印刷流通事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,148	744	7,892	—	7,892	—	7,892
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	22	43	—	43	△43	—
計	7,169	766	7,935	—	7,935	△43	7,892
セグメント利益	391	21	413	—	413	△81	331

(注) 1. セグメント利益の調整額△81百万円には、セグメント間取引消去231百万円、のれんの償却額△64百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△248百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

外食サービス事業において、一部の店舗について固定資産簿価の回収が困難であると判断し、223百万円の減損損失を計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食サービ ス事業	印刷流通事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,282	765	7,048	—	7,048	—	7,048
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	36	36	—	36	△36	—
計	6,282	801	7,084	—	7,084	△36	7,048
セグメント利益	452	63	515	—	515	△98	417

(注) 1. セグメント利益の調整額△98百万円には、セグメント間取引消去140百万円、のれんの償却額△51百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△187百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

外食サービス事業において、一部の店舗について固定資産簿価の回収が困難であると判断し、9百万円の減損損失を計上しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。